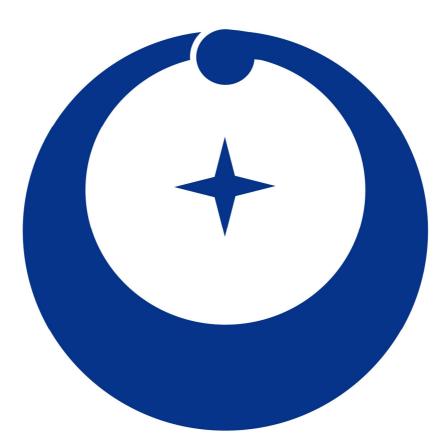
消防年報

令和6年版



浜田市消防本部

(令和7年刊行)

はじめに

この年報は、浜田市消防本部の現勢及び令和6年中における消防業務に関する諸般の実績を集録し、将来の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、本書資料中統計は暦年、予算関係事項については会計 年度とし、表中特に年月日を明示したものは、その時点の現況に よるものです。

令和7年10月

浜 田 市 消 防 本 部

り

*	総務 ★	7	防火対象物数及び
1	地勢・・・・・・・・・1		予防査察実施状況等・・・・36
2	位置及び管内図・・・・・・2	8	防火管理者選任状況等・・・・37
3	管内情勢・・・・・・・・3	9	高層(4階以上)防火
4	常備消防の沿革・・・・・・4		対象物状況・・・・・・・38
5	浜田市消防本部機構図・・・・6	10	各種届出事務処理状況・・・・39
6	歴代消防長・・・・・・・7	11	危険物製造所等
7	歴代消防署長・・・・・・・9		許可・検査・諸届・・・・40
8	消防庁舎の概況 ・・・・・11	12	危険物製造所等立入検査状況・・40
9	消防本部の事務分掌 ・・・・12	13	少量危険物等貯蔵・取扱届・・・40
10	消防署の事務分掌 ・・・・・15	14	圧縮アセチレンガス等
11	浜田市一般会計予算 ・・・・17		貯蔵取扱開始届・・・・・・41
12	消防費内訳 ・・・・・・・18	15	液化石油ガス法関係・・・・・41
13	人口・世帯数と消防費 ・・・・19	16	高圧ガス保安法関係・・・・・41
14	職員実員数 ・・・・・・・20	17	火薬取締法関係・・・・・・41
15	職員年齢 ・・・・・・・21	18	一般住宅に係る建築通知等・・・41
16	職員勤続年数 ・・・・・・22		
17	消防学校等教養関係 ・・・・23		
18	消防力の基準と現有消防力 ・・24	*	警防・通信 ★
19	免許・免状等所有状況 ・・・・25	1	消防車両保有状況 ・・・・・ 42
20	証明書発行状況 ・・・・・26	2	消防水利の現況 ・・・・・・ 43
21	消防相互応援協定	3	消防車両一覧表 ・・・・・・ 44
	業務協定等締結状況 ・・・・27	4	火災予防条例に基づく
22	主な災害 ・・・・・・・28		届出受理状況 ・・・・・・ 45
		5	総出動状況・・・・・・・46
*	予防 ★	6	火災出動状況・・・・・・48
1	火災発生状況総括表 ・・・・30	7	1 1 9 番受信状況・・・・・49
2	地域別火災件数 ・・・・・31	8	各種ヘリ、ドクターカー
3	時刻別火災発生状況 ・・・・32		要請状況・・・・・・・49
4	覚知別火災発生状況及び損害・33		
5	出火原因 ・・・・・・・34		
6	過去5年間の火災発生状況 ・・35		

*	救急・救助 ★	
1	救急状況総括表 ・・・・・・	• 50
2	時刻別·曜日別救急出動状況	• 51
3	傷病程度別搬送状況 ・・・・	• 52
4	署所別救急出動状況 ・・・・	• 53
5	救急法(応急手当)	
	指導状況 ・・・・・・・	• 54
6	まちかど救急ステーション	
	認定状況 ・・・・・・・	• 54
7	救急救命士活動状況 ・・・・	• 55
8	転院搬送状況 ・・・・・・	• 55
9	救助活動状況 ・・・・・・	• 56
*	消防団 ★	
★ 1	消防団 ★ 浜田市消防団の沿革 ・・・・	• 57
★ 1 2		5758
_	浜田市消防団の沿革 ・・・・	
2	浜田市消防団の沿革 ・・・・ 浜田市消防団組織図 ・・・・	• 58
2	浜田市消防団の沿革 ・・・・ 浜田市消防団組織図 ・・・・ 消防隊別団員数と現有消防力	5859
2 3 4	浜田市消防団の沿革 ・・・・ 浜田市消防団組織図 ・・・・ 消防隊別団員数と現有消防力 消防団出動状況 ・・・・・・	585959
2 3 4 5	浜田市消防団の沿革・・・・ 浜田市消防団組織図・・・・ 消防隊別団員数と現有消防力 消防団出動状況・・・・・・ 勤続年数別消防団員数・・・	58595960
2 3 4 5 6	浜田市消防団の沿革・・・・ 浜田市消防団組織図・・・・ 消防隊別団員数と現有消防力 消防団出動状況・・・・・・ 動続年数別消防団員数・・・・・ 年齢別消防団員数・・・・・	58596061
2 3 4 5 6	浜田市消防団の沿革・・・・ 浜田市消防団組織図・・・・ 消防隊別団員数と現有消防力 消防団出動状況・・・・・・ 動続年数別消防団員数・・・・・ 年齢別消防団員数・・・・・	58596061
2 3 4 5 6	浜田市消防団の沿革・・・・ 浜田市消防団組織図・・・・ 消防隊別団員数と現有消防力 消防団出動状況・・・・・・ 動続年数別消防団員数・・・・・ 年齢別消防団員数・・・・・	58596061
2 3 4 5 6	浜田市消防団の沿革・・・・ 浜田市消防団組織図・・・・ 消防隊別団員数と現有消防力 消防団出動状況・・・・・・ 勤続年数別消防団員数・・・・ 年齢別消防団員数・・・・・ 団員報酬及び費用弁償・・・	58596061

総務

1. 地 勢

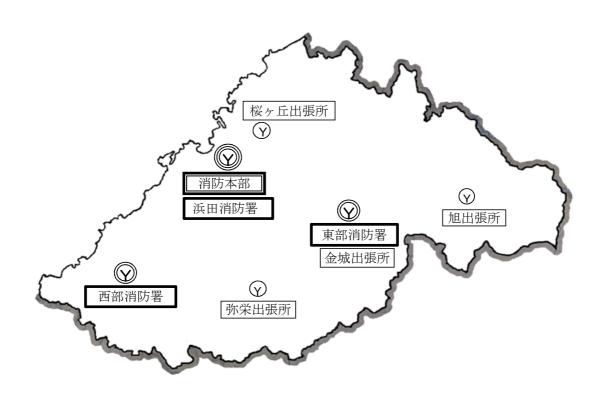
浜田市は、日本海に面した島根県西部のほぼ中央に位置し、東は江津邑智消防組合消防 本部、西は益田広域消防本部、南は広島県北広島町消防本部の管轄と接しています。

市域は東西 45.7 km・南北 29.1 kmの範囲で、面積は島根県の総面積の 1 割に当たる 690.64 k ㎡あり、人口約 5 万人を有しています。海には特定第 3 種漁港と重要港湾に指定 された国際貿易港を抱え、陸路は東西に国道 9 号線、南北に浜田自動車道、国道 186 号線 及び主要地方道等により結ばれています。

浜田市の大部分が丘陵地や山地で、中国山地が日本海まで迫り、切り立ったリアス式地形と砂丘海岸の織り成す海岸線は、優れた自然景観と天然の良港をもたらしています。市内には浜田川、周布川、三隅川等の主要河川が流れており、水資源に恵まれている反面、過去には大きな水害をもたらしています。

2. 位置及び管内図





3. 管 内 情 勢

構 成 浜田市

1本部 3署 4出張所

消防吏員数 125名 (定数140名)

(令和7年4月1日現在)

	区分	消防吏員数	消防車	等の数	世帯数	, I	面積	
	丛 刀	何 例	消防車	救急車	世帝剱	人口	(k m ²)	
	浜田市	125	14	8	24, 816	48, 048	690.64	
消图	坊本部	35	3					
浜日	田消防署	46	7	4				
内	浜田消防署	36	6	3				
訳	桜ヶ丘出張所	9	1	1	`			
東部	部消防署	19	2	2] \			
内	金城出張所	9	1	1				
訳	旭出張所	9	1	1				
西台	部消防署	24	2	2				
内	西部消防署	14	1	1				
訳	弥栄出張所	9	1	1				

防災航空隊	1	

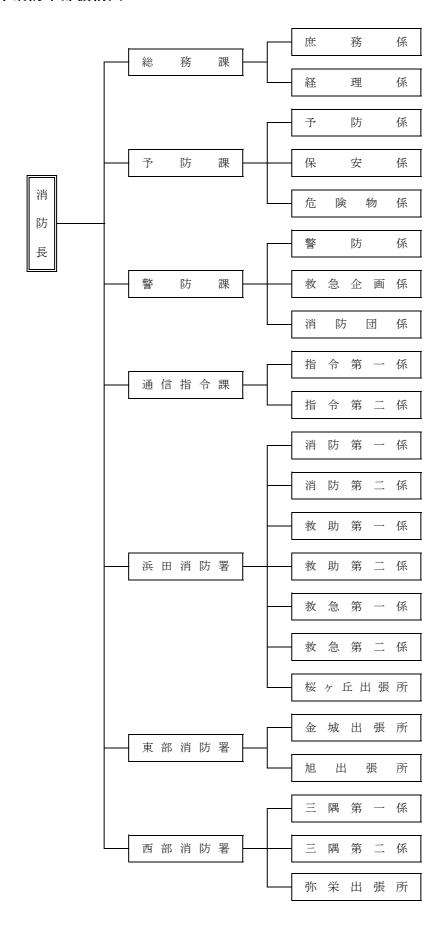
4. 常備消防の沿革

昭和21年3月1日	浜田市に警防団常備部設置され、8名を2交替として常勤することとした。
昭和21年8月0日	山口県光市から消防ポンプ自動車1台(いすゞ3号)を譲り受け団本部に配置した。
昭和22年4月30日	昭和14年4月1日付勅令第1197号警防団令が廃止され、新たに勅令第185号が消防団令が
	公布された。
昭和22年8月30日	勅令185号により、浜田市警防団を浜田市消防団と改称し、常備8名、非常備405名で組
四五年の一年の日1日	織した。
昭和22年9月1日 昭和23年6月1日	浜田市消防団設置条例及び浜田市消防団給与条例を制定した。
哈和23年0月1日	浜田市消防団設置条例の改正により定員を常備8名、非常備271名とした。 消防組織法の公布に基づき、浜田市消防団設置条例を廃止して、浜田市消防団条例を
昭和23年7月21日	間的組織伝の公和に基づき、供用申捐的団政直采例を廃止して、供用申捐的団采例を制定した。
昭和23年7月21日	両足した。 浜田市一円を管轄区域として警防会館内に浜田市消防本部を職員20名で設置した。
	水そう付消防ポンプ自動車を1台購入して消防本部に設置した。(ポンプ車5台 計6
昭和25年11月3日	台)
	消防本部に併設して職員署長以下19名で浜田市消防署を設置した。(消防長以下20
昭和27年4月1日	名)
昭和27年3月23日	浜田市殿町1番地に消防庁舎を新築移転して、業務を開始した。
昭和30年4月1日	那賀郡大麻村及び井野村の一部と合併した。
四年の年の日1日	重要港湾浜田港を有する長浜地区に長浜分署を設置するために、職員3名を増員して計
昭和30年8月1日	23名となる。
昭和30年8月1日	長浜分署を開設し消防ポンプ自動車1台を配置し職員5名で業務を開始した。
	消防専用無線電話の免許を受け、基地局1台、移動局2台、携帯局2台を設置した。
昭和33年4月5日	職員4名を増員して計27名となる。
昭和33年7月21日	7月1日に発生した水害において、その水防活動の功績により島根県知事から賞詞を受
-P4H00 1-1/171 H	ITTO OR THE TAIL TO BE THE TAIL OF THE TAI
昭和33年12月25日	昭和33年に7月1日に発生した水害において、その水防活動の功績により国家消防本部
12.11	長より表彰された。
昭和34年7月12日	昭和33年7月1日に発生した水害においてその水防活動の功績により(社)全国消防協会 長より表彰された。
昭和35年3月1日	 消防力拡充の功績により国家消防本部長より竿頭綬を授与され表彰を受けた。
昭和38年4月1日	市民会館の建設に伴い、消防本部及び消防署を浜田川右岸沿いに移転した。
昭和39年11月1日	職員1名を増員して計28名となる。
昭和42年1月6日	職員1名を増員して計29名となる。
昭和42年7月1日	職員1名を増員して計30名となる。
昭和43年10月1日	政令指定により救急業務を実施するため職員5名を増員して計35名となる。
177 fg 40 /5 10 B 1 B	浜田市役所総務課が所有していた救急自動車プリンスG2型4サイクル1862ccの移管を
昭和43年10月1日	受け救急隊員2名乗車で救急業務を開始した。
昭和44年3月1日	那賀郡国府町と合併した。
昭和46年3月25日	化学消防ポンプ自動車を導入し本署に配置した。
昭和53年10月30日	消防本部及び消防署を市街地西寄りの原井町908番地11に移転新築し、翌年11月1日か
四和33年10月30日	ら消防本部及び消防署の業務を開始して、長浜分署は廃止した。
昭和54年4月1日	消防本部の機構を課制に改め2課4係とした。
昭和56年2月9日	はしご付消防ポンプ自動車1台を導入した。
昭和56年4月1日	
	はしご付消防ポンプ自動車導入に伴い職員9名を増員して計44名となる。
	はしご付消防ポンプ自動車導入に伴い職員9名を増員して計44名となる。 機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係
昭和60年4月1日	
昭和60年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係
昭和60年4月1日 昭和61年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改
	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。
昭和61年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の 設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の 設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成元年3月16日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 <u>浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。</u> 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 <u>浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。</u> 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成2年3月16日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 <u>浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。</u> 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 <u>浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。</u> 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 <u>浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。</u> <u>浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防用車両その他備品一切)を無償で譲渡を受けた。</u>
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成元年3月16日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 <u>浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。</u> 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。 浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防用車両その他備品一切)を無償で譲渡を受けた。 消防本部の組織を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成2年3月16日 平成2年4月1日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 <u>浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。</u> 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 <u>浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。</u> 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。 浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防用車両その他備品一切)を無償で譲渡を受けた。 消防本部の組織を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。 消防組織法第10条に基づく消防本部、消防署を置かなければならない町村として那賀
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成2年3月16日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 <u>浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。</u> 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 <u>浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。</u> 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。 浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防用車両その他備品一切)を無償で譲渡を受けた。 消防本部の組織を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。 消防組織法第10条に基づく消防本部、消防署を置かなければならない町村として那賀郡の4町村(金城町・旭町・弥栄村・三隅町)が政令指定(自治省告示第67号)を受け
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成2年3月16日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。 浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防用車両その他備品一切)を無償で譲渡を受けた。 消防本部の組織を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。 消防組織法第10条に基づく消防本部、消防署を置かなければならない町村として那賀郡の4町村(金城町・旭町・弥栄村・三隅町)が政令指定(自治省告示第67号)を受けた。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成2年3月16日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。 浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防用車両その他備品一切)を無償で譲渡を受けた。 消防本部の組織を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。 消防組織法第10条に基づく消防本部、消防署を置かなければならない町村として那賀郡の4町村(金城町・旭町・弥栄村・三隅町)が政令指定(自治省告示第67号)を受けた。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成2年3月16日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月2日 平成2年4月2日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。 浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防和総を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。消防本部の組織を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。消防組織法第10条に基づく消防本部、消防署を置かなければならない町村として那賀郡の4町村(金城町・旭町・弥栄村・三隅町)が政令指定(自治省告示第67号)を受けた。 第1回浜田那賀消防組合議会を招集、予算及び条例が議決された。三隅町と金城町に三隅出張所、美又出張所庁舎が完成した。
昭和61年4月1日 昭和62年4月1日 平成元年1月30日 平成元年4月1日 平成元年10月18日 平成元年11月1日 平成2年3月16日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日 平成2年4月1日	機構改革により消防本部の消防課を予防課に改め予防係と危険物係の2係とし、消防係を警防救急係と改称して総務課に属することとし、消防署を第一係・第二係の2係に改めた。 浜田市防災無線導入に伴い職員3名を増員して計47名(定数48名)となる。 職員1名を増員して計48名となる。 救助工作車ウインチ付を導入した。 浜田自動車道の一部開通への対応と東部地区の消防力の強化を目的に桜ヶ丘分遣所の設置が決定され、職員7名を増員して計55名となる。 浜田自動車道の浜田インター旭インター間17.4kmが共用開始された。 下府町1821番地に桜ヶ丘分遣所庁舎が完成し消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開始した。 島根県知事より浜田那賀消防組合の設立許可を受ける。 浜田那賀消防組合設立許可(平成2年3月16日指令地第4号の3)により組合を設立、職員1名を補充浜田市から消防職員53名の派遣を受け職員20名を採用して計74名(定数90名)となる。 浜田市から常備消防に属する財産(消防本部消防署の庁舎及び桜ヶ丘分遣所の庁舎並びに消防用車両その他備品一切)を無償で譲渡を受けた。 消防本部の組織を総務課、予防課、警防課の3課に改め、3課6係とした。 消防組織法第10条に基づく消防本部、消防署を置かなければならない町村として那賀郡の4町村(金城町・旭町・弥栄村・三隅町)が政令指定(自治省告示第67号)を受けた。

1	
平成2年9月30日	三隅町室谷に消防無線中継基地局を建設した。
T 40 F 10 F 1	三隅出張所、美又出張所に消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ1台、救急自動車1
平成2年10月1日	台、職員8名をそれぞれ配置して業務を開始した。
平成2年10月1日	弥栄村から弥栄分遣所庁舎を無償で借り受け小型動力ポンプ付積載車1台、救急自動車
十八九七十10711日	1台、職員4名を配置して業務を開始した。
平成3年4月1日	職員12名を採用して計85名となる。(定数90名)
1 /4/00 1// 1	三隅出張所、美又出張所に職員4名を配置して各々12名とした。弥栄分遣所に職員2名
平成3年11月1日	
	を配置して6名とした。
平成3年12月7日	浜田自動車道(浜田~千代田56.6km)が全線共用開始した。
平成4年4月1日	消防職員5名を増員して定数95名となる。
F. N. S. O. B. I.	三隅出張所、美又出張所にそれぞれ職員2名を配置して各々14名とし、弥栄分遣所に2
平成4年10月1日	名配置して8名とした。
平成5年4月1日	消防職員8名を増員して定数103名となる。
/3/X0 1/1 I	
T. N	浜田消防署に職員4名、三隅出張所、美又出張所、弥栄分遣所、桜ヶ丘分遣所にそれぞ
平成5年10月1日	九職員1名を配置して、浜田消防署38名、各出張所各々15名、各分遣所各々9名とし
	た。
平成5年10月1日	島根県防災へリコプター隊員として1名を派遣した。
平成8年11月20日	高規格救急車1台を導入した。
平成9年3月31日	浜田那賀消防組合を解散した。
平成9年4月1日	消防職員3名を増員して定数106名となる。
平成9年4月1日	
₩ 0 年 4 日 1 □	浜田圏域の総合的な振興整備と広域行政の拡充を図るため複合的一部事務組合として
平成9年4月1日	浜田地区行政組合が発足し、消防本部名も「浜田地区消防本部」に改めた。
1	機構改革により消防本部の予防課に指導係を警防課に救急救助係を、本署に救急係を
平成9年4月1日	
亚라0左4日4日	設置して各々3係に改めた。
平成9年4月1日	火薬類、高圧ガス、液化石油ガス等に係る事務の権限移譲をうける。
	美又出張所に高規格救急自動車1台を導入した。
	新服制基準に従い活動服を変更した。
	はしご付消防自動車(30m級)を更新した。
平成15年12月11日	桜ヶ丘分遣所に高規格救急自動車1台を導入した。
平成16年11月16日	化学消防ポンプ自動車を更新した。
	浜田消防署の高規格救急自動車を更新した。
平成17年4月1日	消防職員5名を増員して定数111名となる。
	旭町に旭出張所庁舎が完成した。
十八八十 37110日	
 N 	浜田市、金城町、旭町、弥栄村、三隅町の1市3町1村が合併して、新「浜田市」と
平成17年10月1日	なり、消防本部名も「浜田市消防本部」に改めた。また、桜ヶ丘分遣所及び弥栄分遣
	所を、桜ヶ丘出張所及び弥栄出張所とする。定数112名となる。
	旭出張所に消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台、職員9名を配置して業務を開
平成18年1月1日	
	始した。
	機構改革を行い、新たに1課「通信指令課」を新設する。
平成19年4月1日	高機能消防指令センターの運用開始。それに伴い通信指令課を1係増設し2係とした。
平成19年12月1日	三隅出張所の高規格救急自動車を更新した。
平成20年11月 7日	浜田消防署の高規格救急自動車を更新した。
	浜田消防署の水そう付消防ポンプ自動車を更新した。
T. Dooks Hall	浜田消防署の消防ポンプ自動車を更新した。
平成22年4月1日	島根県消防学校教官として1名を派遣した。
平成23年1月20日	弥栄出張所の救急車を更新し、高規格救急自動車を購入した。
	救助工作車を更新し、クレーン付救助工作車とした。
	浜田消防署の高規格救急自動車を更新した。
平成24年3月16日	浜田消防署の消防ポンプ自動車を更新した。
	浜田消防署の消防ポンプ自動車を更新した。
	美又出張所の高規格救急自動車を更新した。
平成27年1月30日	浜田消防署の指揮車を更新した。
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	機構改革を行い、金城町、旭町を管轄する東部消防署、弥栄町、三隅町を管轄する西
	部消防署を新設する。また、浜田市消防本部予防課指導係を予防係へ統合し保安係を
	新設、浜田市消防団事務一元化により浜田市消防本部警防課消防係を消防団係へ名称
平成27年4月1日	新成、供用市捐的国事務 元化により供用市捐的本品書的採捐的保存捐的団保 名称 変更、浜田消防署救急係を2係体制とする。
	美又出張所を移転し、金城出張所として開所した。
	消防職員10名を増員して定数122名となる。
平成27年11月6日	旭出張所の高規格救急自動車を更新した。
	桜ヶ丘出張所の消防ポンプ自動車を更新した。
平成28年12月1日	三隅支所自治防災課へ職員1名を消防吏員として派遣した。
平成29年1月26日	三隅出張所の消防ポンプ自動車を更新した。
平成29年3月9日	三隅出張所の高規格救急自動車を更新した。
1 13V70-1-0)1111	
平成29年12月1日	金城支所防災自治課、旭支所防災自治課、弥栄支所防災自治課へ各1名ずつ合計3名の
1 14V20 - 17) 1 H	職員を消防吏員として派遣した。
	警防課救急救助係を救急企画係に名称変更し、併せて、浜田消防署に救助第一係と救
平成30年12月1日	助第二係を新設した。また、三隅発電所2号機の着工に伴う三隅出張所の体制強化のた
1 2人007年14月1日	
A Trobero H	め、三隅出張所を西部消防署に統合し、三隅第一係と三隅第二係を配置した
令和2年10月21日	桜ヶ丘出張所の高規格救急自動車を更新した。
令和3年3月15日	消防本部に後方支援車を配備した。
令和4年11月26日	浜田消防署の高規格救急自動車を更新した。
令和6年3月6日	弥栄出張所の高規格救急自動車を更新した。
令和6年4月1日	高機能消防指令センターを更新運用開始した。

5. 浜田市消防本部機構図

(令和7年4月1日現在)



6. 歴代消防長

区分	氏名	就任期間	摘要
初代	竹内初治	昭和24年10月1日~昭和31年3月31日	
2代	瀧河重一	昭和31年4月1日~昭和38年1月31日	助役兼務
3代	和田俊一	昭和38年6月1日~昭和46年3月31日	助役兼務
4代	本多盛三郎	昭和46年8月16日~昭和48年5月23日	
5代	山口博三郎	昭和48年5月24日~昭和55年6月30日	助役兼務
6代	小松定男	昭和55年7月1日~昭和57年3月31日	
7代	竹原儀忠	昭和57年4月1日~昭和59年3月31日	
8代	上野隆	昭和59年4月1日~昭和61年3月31日	
9代	中上良憲	昭和61年4月1日~昭和63年3月31日	
10代	山内正勝	昭和63年4月1日~平成2年3月31日	
兵田那賀	買消防組合消防 本	·····································	
	氏名	就任期間	
初代	和田昌明	平成2年4月1日~平成4年3月31日	
2代	桃木俊昭	平成4年4月1日~平成6年3月31日	
3代	東野日出夫	平成6年4月1日~平成8年3月31日	
4代	稲垣政敏	平成8年4月1日~平成9年3月31日	
兵田地区	工消防本部		
	氏名	就任期間	摘要
初代	稲垣政敏	平成9年4月1日~平成12年3月31日	
2代	木鷺正勝	平成12年4月1日~平成15年3月31日	
3代	山本晋也	平成15年4月1日~平成16年3月31日	
4代	倉本 香	平成16年4月1日~平成17年3月31日	
5代	濵﨑洋祐	平成17年4月1日~平成17年9月30日	
兵田市消	肖防本部		
	氏名	就任期間	摘要
初代	濵﨑洋祐	平成17年10月1日~平成19年3月31日	
2代	本多 勇	平成19年4月1日~平成20年3月31日	
3代	釜田致博	平成20年4月1日~平成21年3月31日	
4代	平野一茂	平成21年4月1日~平成24年3月31日	
5代	加戸 護	平成24年4月1日~平成27年3月31日	
6代	河上晴夫	平成27年4月1日~平成28年3月31日	

	氏名	就任期間	摘要
7代	藤井哲二	平成28年4月1日~平成29年3月31日	
8代	佐々木和文	平成29年4月1日~平成31年3月31日	
9代	中村弘志	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
10代	琴野正義	令和2年4月1日~令和5年3月31日	
11代	田中成幸	令和5年4月1日~令和6年3月31日	
12代	赤岸健一	令和6年4月1日~(現在)	

7. 歴代消防署長

浜田市	肖防署		
区分	氏名	就任期間	摘要
初代	竹内初治	昭和27年4月1日~昭和31年3月31日	消防長事務取扱
2代	本多盛三郎	昭和31年4月1日~昭和48年5月23日	消防長事務取扱
3代	竹原儀忠	昭和48年5月24日~昭和57年3月31日	
4代	上野 隆	昭和57年3月31日~昭和59年3月31日	
5代	山内正勝	昭和59年4月1日~昭和63年3月31日	
6代	西村 敏	昭和63年4月1日~平成2年3月31日	
浜田那貧	買消防組合浜田消	的署	
区分	氏名	就任期間	摘要
初代	西村 敏	平成2年4月1日~平成3年3月31日	
2代	桃木俊昭	平成3年5月1日~平成4年3月31日	
3代	稲垣政敏	平成4年4月1日~平成6年3月31日	
4代	大垰正人	平成6年4月1日~平成9年3月31日	
浜田地	区広域行政組合浜	田消防署	
区分	氏名	就任期間	摘要
初代	河村憲治	平成9年4月1日~平成12年3月31日	
2代	日名子勝彦	平成12年4月1日~平成15年3月31日	
3代	倉本 香	平成15年4月1日~平成16年3月31日	
4代	杉浦裕正	平成16年4月1日~平成17年3月31日	
5代	本多 勇	平成17年4月1日~平成17年9月30日	
浜田市	肖防本部浜田消防	逻	
区分	氏名	就任期間	摘要
初代	本多 勇	平成17年10月1日~平成19年3月31日	
2代	中村正利	平成19年4月1日~平成20年3月31日	
3代	梢江 勉	平成20年4月1日~平成23年3月31日	
4代	藤井哲二	平成23年4月1日~平成27年3月31日	
5代	田原俊二 平成27年4月1日~平成29年3月31日		
6代	田中清	平成29年4月1日~令和2年3月31日	
7代	本田教司	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
8代	齋藤博之	令和3年4月1日~令和4年3月31日	
9代	森下修二	令和4年4月1日~令和6年3月31日	
10代	宇津語	令和6年4月1日~令和7年3月31日	
11代	橋本圭史	令和7年4月1日~(現在)	

浜田市	浜田市消防本部東部消防署						
区分	氏名	就任期間	摘要				
初代	大驛興次	平成27年4月1日~平成28年3月31日					
2代	尾崎亮一	平成28年4月1日~平成31年3月31日					
3代	田中成幸	平成31年4月1日~令和2年3月31日					
4代	宇津語	令和3年4月1日~令和5年3月31日					
5代	浦田博文	令和5年4月1日~令和6年3月31日					
6代	伏田和敏	令和6年4月1日~令和7年3月31日					
7代	金谷和幸	令和7年4月1日~(現在)					
浜田市	肖防本部西部消防暑						
区分	氏名	就任期間	摘要				
初代	中村弘志	平成27年4月1日~平成29年3月31日					
2代	琴野正義	平成29年4月1日~平成31年3月31日					
3代	森下修二	平成31年4月1日~令和2年3月31日					
4代	伏田和敏	令和2年4月1日~令和4年3月31日					
5代	山下武司	令和4年4月1日~令和7年3月31日					
6代	吉川雄三	令和7年4月1日~(現在)					

8. 消防庁舎の概況

署所名等	所在地	構造	建築年月	延面積(m²)	建築面積(m²)	敷地面積(㎡)
本部・浜田署	浜田市原井町 908番地11	鉄筋コンクリー ト造 2階建	昭和53年10月	1, 266. 30	828. 65	
訓練塔	浜田市原井町 908番地11	鉄筋コンクリー ト造 5階建	昭和54年 4月	100.00	20.00	4, 367. 27
通信指令棟	浜田市原井町 908番地11	鉄骨造平屋建	平成18年 9月	197. 00	197. 00	
桜ヶ丘出張所	浜田市下府町 1821番地53	鉄筋コンクリー ト造	平成元年10月	152. 90	152. 90	1, 243. 82
金城出張所	浜田市金城町七条 イ631番地4	鉄骨造平屋建	平成27年3月	198. 20	198. 20	1, 547. 00
旭出張所	浜田市旭町丸原 1534番地6	鉄骨造平屋建	平成17年12月	178. 60	194. 80	1, 201. 00
西部消防署	浜田市三隅町向野田 3156番地	鉄筋コンクリー ト造 平屋建	平成2年9月	198. 69	198. 69	986. 22
弥栄出張所	浜田市弥栄町木都賀 イ493番地1	鉄骨造平屋建	平成2年8月	150. 08	150. 08	1, 255. 00
多目的施設	浜田市金城町今福	鉄骨造2階建	平成18年12月	50.00	25. 00	4, 334. 84
(訓練塔A·B)	284番地	鉄骨造2階建	平成18年12月	50.00	25. 00	1, 554. 04

9. 消防本部の事務分掌

総務課

庶 務 係

- ① 消防の組織並びに消防力の整備等の総合企画及び調整に関すること。
- ② 告示、訓令等の制定及び改廃に関すること。
- ③ 公印の保管に関すること。
- ④ 表彰及び儀式に関すること。
- ⑤ 消防広報、消防統計及び消防沿革に関すること。
- ⑥ 人事、給与及び服務規律に関すること。
- ⑦ 消防職員の研修に関すること。
- ⑧ 消防賞じゅつ金に関すること。
- ⑨ 消防職員の安全管理及び衛生管理に関すること。
- ⑩ 課の庶務に関すること。

経 理 係

- ① 消防本部所管の予算要求書の調整及び歳入予算の執行に関すること。
- ② 庁用物品等の調達に関すること。
- ③ 補助金その他財政に関すること。
- ④ 消防財産に関すること。
- ⑤ 消防施設及び消防機械器具の整備に関すること。
- ⑥ 貸与品の管理に関すること。
- ⑦ 庁舎の維持管理及び営繕に関すること。

予 防 課

予 防 係

- ① 火災予防広報及び普及に関すること。
- ② 防火対象物に関すること。
- ③ 予防技術の調査、研究に関すること。
- ④ 火災の原因調査に関すること。
- ⑤ 火災の統計及び報告に関すること。
- ⑥ り災証明に関すること。
- ⑦ 建築許可の同意に関すること。
- ⑧ 消防用設備等の設置及び検査に関すること。
- ⑨ 予防関係各種届出に関すること。
- ⑩ 予防統計及び報告に関すること。
- ① 課の庶務に関すること。

危険物係

- ① 危険物、少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- ② 危険物施設の指導及び立入検査に関すること。
- ③ 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- ④ 危険物等の防災技術の調査研究に関すること。
- ⑤ 危険物保安協会に関すること。
- ⑥ 危険物関係の統計及び報告に関すること。
- ⑦ その他危険物に関すること。

保安係

- ① 高圧ガスの製造施設等の許可、届出及び立入検査に関すること。
- ② 液化石油ガス設備工事等の届出及び立入検査に関すること。
- ③ 火薬類の譲渡、譲受け、消費等の許可及び立入検査に関すること。
- ④ 少年女性防火委員会等に関すること。
- ⑤ 保安関係の統計及び報告に関すること。
- ⑥ その他権限移譲事務に関すること。
- ⑦ 高圧ガス、液化石油ガス、火薬類等の調査研究に関すること。

警 防 課

警 防 係

- ① 警防活動の計画に関すること。
- ② 消防施設(庁舎を除く)の整備計画に関すること。
- ③ 消防の機械器具の配置及び整備に関すること。
- ④ 消防水利の設置、指定及び維持管理に関すること。
- ⑤ 消防職員の教育訓練に関すること。
- ⑥ 消防車両等の安全運転管理に関すること。
- ⑦ 消防関係団体に関すること。
- ⑧ 消防相互応援協定に関すること。
- ⑨ 緊急消防援助隊に関すること。
- ⑩ 消防救助技術の調査研究及び指導に関すること。
- ⑪ 消防救助統計及び報告に関すること。
- ② 課の庶務に関すること。

救急企画係

- ① 救急隊員の管理運営に関すること。
- ② 救急の高度化推進に関すること。
- ③ 応急手当の普及啓発に関すること。
- ④ 救急関係機関との連絡調整に関すること。
- ⑤ 救急統計及び報告に関すること。
- ⑥ 救急証明に関すること。
- (7) 救急技術の調査研究に関すること。
- ⑧ メディカルコントロールに関すること。
- ⑨ ドクターへリに関すること。
- ⑩ その他救急に関すること。

消防団係

- ① 消防団の機械器具の配置及び整備に関すること。
- ② 消防団員の教育訓練計画に関すること。
- ③ 消防団の各種活動に関すること。
- ④ 消防団の組織の運営及び事務に関すること。
- ⑤ その他消防団に関すること。

通信指令課

指令第一係、指令第二係

- ① 火災、救急、救助その他災害の受報及び出動指令に関すること。
- ② 消防通信の統制及び運用に関すること。
- ③ 消防職員及び消防団員の招集に関すること。
- ④ 通信指令のための情報収集及び調査に関すること。
- ⑤ 気象情報及び火災警報に関すること。
- ⑥ 災害情報の収集、連絡、記録及び災害現場への情報伝達に関すること。
- ⑦ 消防通信施設等の維持管理に関すること。
- ⑧ 消防通信の統計及び報告に関すること。
- ⑨ 通信技術の調査研究及び研修に関すること。
- ⑩ その他通信に関すること。

10. 消防署の事務分掌

浜田消防署

消防第一係、消防第二係 桜ヶ丘出張所

- ① 署員の休暇、欠勤、勤務割り等に関すること。
- ② 署員の服務規律に関すること。
- ③ 署に属する時間外勤務等の整理に関すること。
- ④ 署に属する物品の保管に関すること。
- ⑤ 火災その他の災害に関すること。
- ⑥ 消防訓練計画及び実施に関すること。
- ⑦ 消防用車両等の点検整備に関すること。
- ⑧ 消防用機械器具の点検整備及び管理運用に関すること。
- ⑨ 消防用機械器具及び消防技術の調査研究に関すること。
- ⑩ 車両用の燃料等に関すること
- ⑪ 消防統計に関すること

救助第一係、救助第二係

- ① 救助業務に関すること。
- ② 救助活動等の実施計画に関すること。
- ③ 救助訓練計画及び実施に関すること。
- ④ 救助用機械器具の点検整備及び管理運用に関すること。
- ⑤ 救助用機械器具及び救助技術の調査研究に関すること。
- ⑥ 救助統計に関すること。

救急第一係、救急第二係

- ① 救急業務に関すること。
- ② 応急手当の普及啓発に関すること。
- ③ 救急訓練計画及び実施に関すること。
- ④ 救急用機械器具の点検整備及び管理運用に関すること。
- ⑤ 救急用機械器具及び救急技術の調査研究に関すること。
- ⑥ 救急統計に関すること。

東部消防署及び西部消防署

三隅第一係、三隅第二係、出張所

- ① 署員の休暇、欠勤、勤務割り等に関すること。
- ② 署員の服務規律に関すること。
- ③ 署に属する時間外勤務等の整理に関すること。
- ④ 署に属する物品の保管に関すること。
- ⑤ 火災その他の災害に関すること。
- ⑥ 消防訓練計画及び実施に関すること。
- ⑦ 消防用車両等の点検整備に関すること。
- ⑧ 救急及び救助業務に関すること。
- ⑨ 消防用機械器具の点検整備及び管理運用に関すること。
- ⑩ 消防用機械器具及び消防技術の調査研究に関すること。
- ⑪ 消防統計に関すること。
- ② 救急用機械器具の点検整備及び管理運用に関すること。

- ③ 救急用機械器具及び救急技術の調査研究に関すること。
- ⑭ 車両用の燃料等に関すること。
- ⑤ 応急手当の普及啓発に関すること。
- 16 救急統計に関すること。

各消防署共通

- ① 防火対象物に関すること。
- ② 火災の原因調査に関すること。
- ③ 各種届出に関すること。
- ④ 消防地理水利の点検調査に関すること。
- ⑤ 災害活動等の実施計画に関すること。
- ⑥ 消防団に関すること。
- ⑦ 気象情報及び消防防災通信に関すること。

11. 令和7年度浜田市一般会計予算(当初)

歳 入 (単位:千円)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	増減
1. 市税	9, 719, 713	9, 260, 832	458, 881
2. 地方譲与税	444, 178	426, 750	17, 428
3. 利子割交付金	5, 500	4, 828	672
4. 配当割交付金	30, 260	25, 618	4, 642
5. 株式等譲渡所得割交付金	46, 589	28, 263	18, 326
6. 法人事業税交付金	134, 931	128, 343	6, 588
7. 地方消費税交付金	1, 358, 168	1, 320, 547	37, 621
8. ゴルフ場利用税交付金	15, 273	14, 931	342
9. 環境性能割交付金	28, 438	25, 352	3, 086
10. 地方特例交付金	31, 209	233, 173	▲ 201, 964
11. 地方交付税	10, 150, 000	10, 450, 000	▲ 300, 000
12. 交通安全対策特別交付金	4, 503	5, 434	▲ 931
13. 分担金及び負担金	240, 284	225, 342	14, 942
14. 使用料及び手数料	414, 261	420, 647	▲ 6, 386
15. 国庫支出金	5, 935, 950	4, 629, 572	1, 306, 378
16. 県支出金	3, 001, 534	2, 667, 264	334, 270
17. 財産収入	308, 712	154, 611	154, 101
18. 寄附金	1, 258, 197	1, 264, 231	▲ 6,034
19. 繰入金	3, 765, 133	2, 895, 083	870, 050
20. 繰越金	1	1	0
21. 諸収入	1, 341, 666	1, 145, 753	195, 913
22. 市債	5, 085, 500	3, 816, 100	1, 269, 400
歳 入 合 計	43, 320, 000	39, 142, 675	4, 177, 325

歳出

区	分	本年度予算額	前年度予算額	増減
1. 議会費		242, 134	239, 896	2, 238
2. 総務費		8, 590, 240	5, 772, 556	2, 817, 684
3. 民生費		12, 162, 000	11, 825, 595	336, 405
4. 衛生費		3, 863, 626	4, 620, 267	▲ 756, 641
5. 労働費		23, 100	23, 100	0
6. 農林水産業	費	2, 413, 163	1, 952, 639	460, 524
7. 商工費		2, 060, 743	870, 084	1, 190, 659
8. 土木費		2, 996, 933	3, 279, 135	▲ 282, 202
9. 消防費		1, 574, 636	1, 395, 324	179, 312
10. 教育費		3, 947, 425	3, 287, 954	659, 471
11. 災害復旧費		90, 000	90,000	0
12. 公債費		5, 311, 000	5, 741, 125	▲ 430, 125
13. 予備費		45, 000	45, 000	0
歳出	合 計	43, 320, 000	39, 142, 675	4, 177, 325

12. 消防費内訳

(単位:千円)

項目	事業名	金額
消防費		1, 574, 636
	職員給与費	1, 059, 094
	常備消防事務運営費	68, 304
	消防職員管理費	8, 302
常備消防費	救急救命士養成事業	6, 410
	通信指令管理費	3, 986
	地域における救急救命体制整備事業	3, 686
	情報通信システム対災害性向上事業	8, 381
	消防団員報酬等	57, 432
 非常備消防費	消防団員退職報償金	28, 810
子	非常備消防事務運営費	50, 540
	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金	18, 127
消防施設費	防災まちづくり事業	85, 807
	消防施設等整備事業	175, 757

13. 人口・世帯数と消防費

(令和7年4月1日現在)

区分	消防費(千円)	人口	1人当り 消防費(円)	世帯数	1 世帯当り 消防費(円)
浜田市	1, 574, 636	48, 048	32, 772	24, 816	63, 452

14. 職員実員数

(令和7年4月1日現在) 防 吏 消 員 消 消 消 消 消 消 消 消 防 防 防 防 防 防 計 防 司 司 副 防 司 士 職 令 令 士 令 監 長 補 長 長 士 員 合計 43 16 10 28 消防長 課長 庶務係 経理係 務 支所防災自治課派遣 課 防災航空隊派遣 消防学校教官派遣 県消防学校入校 2 課長 防本部 予 予防係 2 防 課 危険物係 1 保安係 2 1 課長 警 警防係 防 課 救急企画係 消防団係 通課長信 指 指令第一係 5 2 2 課 指令第二係 2 浜田消防署長 消防第一係 11 3 6 消防第二係 11 5 救助第一係 防署 救助第二係 2 救急第一係 1 1 救急第二係 1 桜ヶ丘出張所 2 2 3 東部消防署長 部 金城出張所 消 5 1 1 防署 旭出張所 2 9 1 4 1 西部消防署長 三隅第一係 消 防署 三隅第二係 3 1 弥栄出張所

15. 職員年齢

(令和7年4月1日現在) 全体の平均年齢は消防吏員

					全体の平均年齢は消防吏員								
Λ			消	防		吏	員						
1 \													
		消	消	消	消	消	消	消	消				
	⇒L		防	防	防	防	防		防				
	計	防	司	BYJ	司	1977	副	防					
		123	令	司	令	士	士	123	職				
		監	長	令	補	長	長	士	員				
		iii.	文	.11	衎	又	又		貝				
人員	126	1	7	20	43	16	10	28	1				
平均年齢	42. 7	56. 0	55. 6	54. 8	51.6	38.6	29. 5	23. 9	62. 0				
18 才	0	00.0	00.0	01.0	01.0	00.0	20.0	20.0	02.0				
19 "	2							2					
20 "	4							4					
21 "	1							1					
22 "	6							6					
23 "	1							1					
24 "	3							3					
25 "	3							3					
26 "	2							2					
27 "	4						3	1					
28 "	1						1						
29 "	5						2	3					
30 "	1							1					
31 "	2						1	1					
32 "	3					1	2						
33 "	2					1	1						
34 "	1					1							
35 "	1					1							
36 "	1					1							
37 "	1					1							
38 "	2					2							
39 "	1					1							
40 "	1					1							
41 "	2					2							
42 "	2					2							
43 "	5			1	3	1							
44 "	0												
45 "	1				1								
46 "	2				1	1							
47 "	3			1	2								
48 "	2				2								
49 "	3			1	2								
50 "	3				3								
51 "	7				7								
52 "	4				4								
53 "	11		1	2	8								
54 "	4			2	2								
55 "	4		2	1	1								
56 "	14	1	2	7	4								
57 <i>"</i>	3		2	1									
58 "	1				1								
59 "	2			2									
60 "	1			1									
61 "	1			1									
62 "	1								1				
63 "	1				1								
64 "	1				1								
Pi	-												

16. 職員勤続年数

(令和7年4月1日現在)

			消	防		吏	員	
	= 1	消	消 防	消	消 防	消	消 防	消
	計	防	司令	防 司	司令	防 士	副士	防
		鮨	長	令	補	長	長	士
人員	125	1	7	20	43	16	10	28
1 年 未 満	4							4
1 年	4							4
2 年	4							4
3 年	3							3
4 年	3							3
5 年	1							1
6 年	3							3
7 年	6							6
8 年	4						4	
9 年	5					1	4	
10 年	3					1	2	
11 年								
12 年								
13 年								
14 年	2					2		
15 年								
16 年	1					1		
17 年	1					1		
18 年	2					2		
19 年	2				1	1		
20 年	7				2	5		
21 年	1					1		
22 年	2				1	1		
23 年	2				2			
24 年								
25 年	1			1				
26 年								
27 年	1			1				
28 年	4			1	3			
29 年	2				2			
30年以上	57	1	7	17	32			

17. 消防学校等教養関係

(令和6年度)

機関名	教育種別	派遣人員
島根県消防学校	初任総合教育(第64期)	4人
島根県消防学校	幹部教育 初級幹部科 (第36期)	1人
島根県消防学校	専科教育 警防科 (第33期)	1人
島根県消防学校	専科教育 火災調査科 (第20期)	1人
島根県消防学校	専科教育 予防科 (第8期)	1人
島根県消防学校	特別教育 研修教官	1人
島根県消防学校	特別教育 違反是正研修	1人
島根県消防学校	特別教育 部隊指揮研修	1人
島根県消防学校	特別教育 実火災体験研修	2人
島根県消防学校	特別教育 火災性状指導者研修	2人
島根県消防学校	特別教育 中級幹部科 (第33期)	1人

18. 消防力の基準と現有消防力

(令和7年4月1日現在)

	区分消防署		出張所	消防ポンプ 自動車	化学車	梯子車	救助工作車	救急車	消防吏員
A	消防力 の基準	1	5	7	1	1	1	7	166
В	現有消 防力	3	4	7	1	1	1	7	125
В/	'A×100	300	80	100	100	100	100	100	75. 30

19. 免許•免状等所有状況

(令和7年4月1日現在)

消	5717	
防副士長	消 防 士	計
4	1	37
5	7	78
7	10	27
0	0	31
0	1	13
0	1	16
9	19	65
0	1	38
10	25	122
6	11	43
5	8	51
10	19	84
8	7	71
0	0	7
	副士長 4 5 7 0 0 0 9 0 10 6 5 10 8	副士 長 士 4 1 5 7 7 10 0 0 0 1 0 1 9 19 0 1 10 25 6 11 5 8 10 19 8 7

20. 証明書発行状況

(令和6年度)

り災証明	救急出場証明	防火管理に関する 講習終了証明願	その他の証明	計
12	0	3	0	15

21. 消防相互応援協定・業務協定等締結状況

名称等	対象団体	締結年月日
緊急事態における浜田市消防と浜田警察署との援助協力について の協定書	浜田警察署	昭和32年2月20日
船舶火災の消火等に関する業務協定書	浜田海上保安部	平成3年9月13日
浜田自動車道における消防及び救急業務に関する覚書	日本道路公団	平成3年10月22日
浜田自動車道(浜田~千代田)消防相互応援協定	江津邑智消防組合、 北広島町消防署	平成3年10月30日
島根県防災へリコプター応援協定	島根県下全市町村、 県下消防本部	平成6年3月28日
ヘリポート夜間照明設備整備事業実施に伴う協定書	江津市	平成10年4月1日
救急救命士の救急救命処置に対する医師の具体的指示等に関する 覚書	益田赤十字病院	平成10年4月1日
救急救命士の救急救命処置に対する医師の具体的指示等に関する 覚書	益田地域医療センター医師会病院	平成10年7月1日
救急業務委託契約書	国立浜田病院	平成15年4月1日
江津道路に係る確認書	江津邑智消防組合	平成15年9月16日
火災調査協力員に関する協定書	独立行政法人消防研究所	平成16年3月29日
携帯用ヘリポート夜間照明施設の使用に伴う確認書	江津邑智消防組合	平成17年10月19日
島根県防災へリコプター救急救命士搭乗システムに関する協定	島根県、県下消防本部	平成18年3月27日
主要地方道浜田作木線「新日貫トンネル」における確認書	江津邑智消防組合	平成18年11月6日
浜田市・北広島町消防相互応援協定	北広島町	平成19年3月15日
鉄道災害時の安全管理体制の確保に関する覚書	県下消防本部、西日本旅客鉄道株 式会社、一畑電車株式会社	平成20年3月1日
中国五県消防防災へリコプター相互応援協定	中国五県	平成23年3月1日
島根県立石見海浜公園Dゾーン確認書	江津邑智消防組合	平成23年6月1日
高速道路関連施設におけるヘリコプターの運用に関する確認書	島根県、警察庁、島根県警、 西日本高速道路株式会社	平成25年11月18日
災害時における緊急車両等への給油に関する協定及び、災害時における緊急用石油製品の調達に関する協定	株式会社浜田昭石 島根石油株式会社	平成26年10月31日
エボラ出血熱患者搬送に関する協定について	島根県知事	平成27年2月2日
塚ヶ原山トンネル及び吉地第2トンネル無線通信施設の使用及び管理 に関する協定	浜田河川国土事務所、 中国管区警察局	平成27年2月19日
水難事故時における救助活動に関する協定書	浜田ライフセービングクラブ	平成27年5月22日
消防救急デジタル無線広域・共同整備事業等に於ける設備・施設の保 守管理に関する協定書	島根県、県下消防本部	平成28年9月30日
島根県消防広域相互応援協定書	島根県、県下全市町村 及び消防本部	平成30年8月1日
新型コロナウイルス感染症患者の移送に関する協定書	島根県	令和2年6月5日
島根大学医学部附属病院高度外傷センタードクターカー運用に関 する協定	島根大学医学部附属病院	令和4年4月1日

22. 主な災害

明治5年3月14日 浜田地震 家屋全壊4,324棟 死者550名

明治27年9月11日 浜田川洪水 家屋被害102戸 大正8年7月4日 浜田川洪水 家屋被害505戸

大正11年3月20日 暴風 漁船員34名行方不明 83隻転覆

昭和18年9月20日 台風による集中豪雨災害(周布川氾濫)

死傷者45名(死者27名) 家屋被害2,900棟

昭和21年1月16日 福井大火 5棟全焼

昭和23年6月23日浜田駅前大火24棟全半焼昭和25年2月7日原井町大火7棟全半焼昭和25年11月19日黒川町大火10棟全半焼昭和30年7月29日浜田市養老院大火5棟全焼

昭和32年1月18日 京町大火 7棟全半焼

昭和33年7月1日 集中豪雨災害 死傷者 124名(行方不明者1名)

家屋被害6,706棟 被害総額1,882,570千円

昭和36年1月19日 紺屋町大火 6棟全半焼 昭和37年2月12日 京町大火 5棟全半焼 昭和39年4月25日 多陀寺火災 本堂庫裏全焼

昭和44年12月13日 牛市町大火 7棟全半焼

昭和46年2月26日 黒川町大火 4棟全半焼 死者2名

昭和47年7月11日 集中豪雨災害 死傷者 4名 家屋被害1,598棟 被害総額 2,298,900千円

昭和50年8月10日 津摩町大火 10棟全焼

昭和54年1月15日 熱田町国道9号線交通事故 死傷者5名

昭和54年8月1日 治和町国道9号線交通事故(大型バスとトレーラーの衝突)重軽傷者32名

昭和58年7月23日 山陰集中豪雨災害 死傷者59名 家屋被害4,210棟

被害総額27,216,830千円

昭和59年12月24日宇野町火災2棟全焼2名焼死昭和60年1月12日三階町火災1棟全焼2名焼死昭和60年4月21日浅井町火災3棟全半焼2名焼死

昭和60年6月~7月6日 集中豪雨災害 家屋被害148棟 被害総額1,848,163千円

昭和63年7月15日 集中豪雨災害 死傷者32名(死者行方不明者5名)

家屋被害5,306棟 被害総額49,458,328千円

平成8年1月3日 清水町火災 5棟全半焼 1名焼死 平成8年1月28日 旭町今市火災 部分焼 2名焼死

平成8年5月28日 熱田町酸欠事故 1名死亡 重軽傷5名

平成16年3月20日 金城町波佐火災 2棟全焼 2名焼死 1名重症

平成18年12月10日 浅井町火災 1棟部分焼 9名負傷

平成22年1月16日 浜田市杉戸町火災 1棟全焼、ぼや3棟 1名焼死

平成22年9月6日~7日 金城町小国火災 12ha焼損

平成22年12月4日 弥栄町栃木火災 1棟全焼 1名焼死

平成23年4月7日 三隅町西河内火災 203 a 焼損

平成23年12月26日 三隅町下古和火災 1棟全焼 1名焼死

平成25年8月23日 島根県西部豪雨災害

平成26年1月8日 三隅町岡見火災 1棟半焼 1名焼死

平成27年3月26日 金城町今福 浜田自動車道交通事故(マイクロバスと4 t トラックの衝突)

死者1名・重症2名・軽症17名

平成27年6月12日 浜田市内田町火災 3棟全焼 1名焼死 平成29年7月4日~5日 島根県西部豪雨災害(大雨特別警報発令)

平成29年12月11日 浜田市熱田町火災 全焼3棟 半焼1棟 部分焼1棟 ぼや1棟 (火災気象

通報発令中 瞬間最大風速23.7m/s)

平成30年2月19日浜田市金城町入野火災2棟全焼1名焼死平成30年3月28日浜田市旭町重富火災1棟全焼1名焼死平成30年5月20日浜田市三隅町井野火災2棟全焼1名焼死

令和2年6月3日 浜田市竹迫町火災 1棟全焼 2棟ぼや 1名焼死 1名負傷

令和3年3月11日 浜田市長見町林野火災 1名焼死

令和3年3月23日 浜田市弥栄町門田火災 3棟全焼 1名焼死 令和3年6月15日 浜田市三隅町西河内火災 1棟全焼 1名焼死

令和5年12月17日 浜田市三隅町湊浦火災 4棟全焼 1棟部分焼 1名負傷

令和6年1月31日 浜田市高佐町火災 2棟全焼 1棟ぼや 1名死者

令和6年10月12日 浜田市下府町火災 1棟半焼 1名死者

令和6年12月13日 浜田市浅井町火災 1棟全焼 1棟半焼 1棟ぼや 1名死者

予防

1. 火災発生状況総括表

(令和6年中)

			火災	(件数				y.	尭損棟	数			り災t	世帯数		10 ///	死	傷者	焼損	面積		損害	見積額	頁(千円)	
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災 人員	死者	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)	計	建物	林野	車両	船舶	その他
1月	2	2					8	4		3	1	8	6		2	9	1		358		19, 493	19, 443				50
2月	2		1	1			0					0								9	3, 164			3, 164		
3月	4	2	1			1	2				2	2			2	4				9	138	138				
4月	3	1				2	1		1			1		1		3			27		337	337				
5月	4	1	2	1			1				1	0								11	200			200		
6月	3	2				1	2	1			1	0							61		280	280				
7月	0						0					0									0					
8月	5	2	1			2	2	1		1		1			1	1			117	4	4, 924	4, 924				
9月	3	1		1		1	1				1	1			1	2					231			231		
10月	2	1	1				1		1			1	1			1	1		50	1	3, 789	3, 670		119		
11月	4	1		1		2	1				1	1			1	2		1	1		367	95		100		172
12月	1	1					3	1	1		1	3	1	1	1	3	1		209		9, 710	9, 710				
計	33	14	6	4	0	9	22	7	3	4	8	18	8	2	8	25	3	1	823	34	42, 633	38, 597		3, 814		222

2. 地域別火災件数

			火災	件数			焼損	面積		損害	見積額	頁 (千円)		死傷	島者
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	計	建物	林野	車両	船舶	そ の 他	死者	負傷者
浜田市	24	10	3	4		7	525	23	25, 952	21, 966		3, 814		172	3	1
金城町	3	2				1	298		16, 543	16, 493				50		
旭 町	1		1					1	0							
弥栄町	1		1					3	0							
三隅町	4	2	1			1		2	138	138						
≒	33	14	6	4	0	9	823	34	42, 633	38, 597	0	3, 814	0	222	3	1

3. 時刻別火災発生状況

			火災	件数			焼損	面積		損害	 手見積額	(千円)			死信	 場者
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	計	建物	林野	車両	舟台舟白	その他	死者	傷者
$0 \sim 2$	1	1							95	95						1
$2\sim4$	0															
$4 \sim 6$	1	1					50		3, 789	3,670		119			1	
6~8	0															
8~10	3	1	1			1	23	1	653	496				157		
10~12	5	1				4										
12~14	5	2	1	1		1	331	12	20,810	20, 645		100		65		
14~16	4		2	1		1		10	200			200			1	
16~18	6	3	1	1		1	209	1	4,070	3, 839		231				
18~20	3	1	1	1				10	3, 168	4		3, 164				
20~22	2	2					209		130	130						
22~24	1	1					1		9,710	9, 710					1	
不明	2	1				1			8	8						
計	33	14	6	4	0	9	823	34	42, 633	38, 597	0	3, 814	0	222	3	1

4. 覚知別火災発生状況及び損害

				火災	(件数			焼損	面積	死傷	者数		損害	見積額	(千円)		_
		計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	計	建物	林野	車両	船舶	その他
火災報知 (NTT加) 除く固定電	入電話を																
火災報知	固定	4	1	2			1	61	11			276	276		3, 283		
+ m +	携帯	18	8	3	1		6	667	19	3		37, 280	33, 790		431		207
加入電話	固定	3	1		2							431					
加入电站	携帯																
警察電話		2		1			1		1								
駆け付け																	
事後聞知		5	4				1	95	3		1	4, 531	4, 531				
その他		1			1							115			100		15
計	•	33	14	6	4		9	823	34	3	1	42, 633	38, 597		3, 814		222

5. 出火原因

	建物	林野	車両	船舶	その他	計
たばこ						0
こんろ						0
かまど						0
風呂かまど						0
炉						0
焼却炉						0
ストーブ	1					1
こたつ						0
ボイラー						0
煙突・煙道						0
排気管			1			1
電気機器	1					1
電気装置						0
電灯・電話等の配線	1				2	3
内燃機関						0
配線器具			2			2
火あそび						0
マッチ・ライター					1	1
たき火	1	5			5	11
溶接機・切断機						0
灯火						0
衝突の火花						0
取灰						0
火入れ		1				1
放火	1					1
放火の疑い						0
その他	1		1			2
不明・調査中	8				1	9
計	14	6	4	0	9	33

6. 過去5年間の火災発生状況

			水災	件数			l-da	lo.	焼損	面積		死	傷
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	焼損棟数	り災人員	建物 (㎡)	林野 (a)	損害額(千円)	者(人)	傷者(人)
令和2年	27	12	5	2	1	7	25	23	974	72	35, 709	1	4
令和3年	23	10	4	3	0	6	12	12	971	22	69, 763	4	2
令和4年	33	10	6	2	1	14	18	22	898	28	146, 771	0	2
令和5年	25	10	5	0	0	10	16	20	668	65	37, 887	0	1
令和6年	33	14	6	4	0	9	22	25	823	34	42, 633	3	1

7. 防火対象物数及び予防査察実施状況等

				(节和0年度)
			対象物数	延査察 実施数
1	イ	劇場・映画館等	8	2
1	口	公会堂・集会場	47	13
	イ	キャバレー・カフェー等	1	
2	口	遊技場・ダンスホール	5	5
	ハ	性風俗関連営業等		
		カラオケボックス等		
3	イ	待合・料理店等	2	2
J	口	飲食店	39	5
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	80	11
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	37	14
J	口	寄宿舎・下宿・共同住宅	608	
	イ	病院・診療所・助産所	43	7
6	口	老人短期入所施設等	37	13
		保育所・老人デイサービスセンター等	97	12
		幼稚園・特別支援学校	12	
7		小・中・高等学校等	84	7
8		図書館・美術館・博物館等	13	2
9	イ	蒸気・熱気浴場等		
3	口	イ以外の公衆浴場	3	1
10		停車場・発着場		
11		神社・寺院・教会等	96	2
12	イ	工場・作業場	339	10
12	口	映画・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場	57	1
10	口	飛行機等格納庫		
14		倉庫	289	4
15		前各項以外の事務所・事業所	505	8
16	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	228	42
10	口	イ以外の複合用途防火対象物	111	4
17		国宝・重文等		
18		延長50m以上のアーケード		
		計	2, 741	165

8. 防火管理者選任状況等

					(节和0千度)
	\		法8条対象物数	防火管理者 選任済対象物数	消防計画 作成済対象物数
1	イ	劇場・映画館等	7	7	7
1	口	公会堂・集会場	40	40	39
	イ	キャバレー・カフェー等	1	1	1
2	口	遊技場・ダンスホール	4	4	4
	ハ	性風俗関連営業等			
		カラオケボックス等			
3	イ	待合・料理店等	2	2	1
J	口	飲食店	14	13	11
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	48	47	46
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	21	19
9	口	寄宿舎・下宿・共同住宅	53	52	52
	イ	病院・診療所・助産所	19	18	18
6	口	老人短期入所施設等	24	24	24
0	ハ	保育所・老人デイサービスセンター等	40	39	38
		幼稚園・特別支援学校	4	4	4
7		小・中・高等学校等	25	25	25
8		図書館・美術館・博物館等	7	7	7
9	イ	蒸気・熱気浴場等			
9	口	イ以外の公衆浴場	1		1
10		停車場・発着場		1	
11		神社・寺院・教会等	32	21	18
12	イ	工場・作業場	16	19	14
12	口	映画・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	1	
10	口	飛行機等格納庫			
14		倉庫			
15		前各項以外の事務所・事業所	70	64	62
16	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	113	76	73
10	口	イ以外の複合用途防火対象物	14	10	10
17		国宝・重文等			
18		延長50m以上のアーケード			
計			556	496	474

9. 高層(4階以上) 防火対象物状況

_	_								4.0.77	4.45	407	407		
			4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	11F	12F	13F	14F	計
1		劇場・映画館等		1										1
		公会堂・集会場												
		キャバレー・カフェー等												
2	口	遊技場・ダンスホール												
2	ハ	性風俗関連営業等												
	Ц	カラオケボックス等												
3	1	待合・料理店等												
3	П	飲食店	1											1
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	1											1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	3	2	1			2	1				1	10
Э	口	寄宿舎・下宿・共同住宅	57	27	6		3	1	4	1				99
	イ	病院・診療所・助産所	3	2	1									6
C	口	老人短期入所施設等	1											1
6	ハ	保育所・老人デイサービスセンター等	2											2
	Ξ	幼稚園・特別支援学校												
7		小・中・高等学校等	8	1										9
8		図書館・美術館・博物館等		1										1
9	イ	蒸気・熱気浴場等												
9	口	イ以外の公衆浴場												
10		停車場・発着場												
11		神社·寺院·教会等												
12	イ	工場・作業場	1	1										2
12	口	映画・テレビスタジオ												
13	イ	自動車車庫・駐車場			1									1
13	口	飛行機等格納庫												
14		倉庫												
15		前各項以外の事務所・事業所	13	9	4									26
1.0	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	12	3	4	1	1							21
16	口	イ以外の複合用途防火対象物	7	1	1		1					1		11
		計	109	48	18	1	5	3	5	1		1	1	192

10. 各種届出事務処理状況

届出種別	届出数
消防計画作成(変更)届出書	159
防火管理者選任(解任)届出書	102
禁止行為の解除承認申請書	10
消防用設備等点検結果報告書	741
消防訓練通知書	521
町内会・団体等・防火訓練申込書	42
防災管理者選任(解任)届出書	1
防災管理消防計画作成(変更)届出書	2
管理権原者変更届出書	0
全体の消防計画作成変更届出書	1
統括防火防災管理者選解任届出書	0
計	1, 579

11. 危険物製造所等許可・検査・諸届

(令和6年度)

		製		貯		蔵		所		J	 技	及月	沂	
		造	屋	屋外タ	屋内タ	地下タ	簡易タ	移動タ	屋	給	販	移	_	計
		所	内	ンク	ンク	ンク	ンク	ンク	外	油	売	送	般	
許可	設置							2						2
計刊	変更							1		3			19	23
完成検査	設置							2	1					3
元队恢宜	変更							2		3			18	23
完成検査前	検査													0
廃止届			1	1		6		3	2				2	15
譲渡引渡届						1				2				3
種類・数量	変更届		1	1									1	3
仮使用承認										2			19	21
その他届出			3	10	2	18		11		54			27	125
保安監督者	選任届			3		1				9			1	14
	解任届			2		1				7			1	11

仮貯蔵·仮取扱承認 7件

12. 危険物製造所等立入検査状況

(令和6年度)

		製		貯		蔵		所		J	取 扌	及 月	沂	
		造	屋	屋外タ	屋内タ	地下タ	簡易タ	移動タ	屋	給	販	移	-	=
		所	内	シンク	シンク	シンク	シンク	シンク	外	油	売	送	般	
製造所等の	数	1	21	28	2	25		43	3	55			27	205
検査	実施数		3	4	2	11		7		11			6	44
7只 旦.	延実施数		3	4	2	11		7		11			6	44

13. 少量危険物等貯蔵・取扱届

	少量	量危險	後物	指定	定可燃	然物	計
届出別	新規	変更	廃止	新規	変更	廃止	
届出数	15	11	41	0	4	1	72

14. 圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届

(令和6年度)

届出件数 21

15. 液化石油ガス法関係 (令和6年度)

			(
	許可	完成検査	届出
計	0	0	14

16. 高圧ガス保安法関係

(令和6年度)

	製造許可	貯蔵所	製造施設等	完成検査	保安検査	届出	立入検査
計	0	0	1	1	2	40	39

17. 火薬類取締法関係

(令和6年度)

						1 1- 11-
	譲受・消費	譲受	消費	譲渡	廃棄	届出
計	9	0	5	1	0	10

18. 一般住宅に係る建築通知等

件数	105

警防 · 通信

1. 消防車両保有状況

		消	浜田洋	肖防署	東	部消防	署	西部洋	肖防署
	計	防本部		桜ケ丘出張所		金城出張所	旭出張所		弥 栄 出 張 所
計	35	13	10	2	1	2	2	3	2
はしご付消防自動車	1		1						
救助工作車	1		1						
化学消防ポンプ自動車	1		1						
水そう付消防ポンプ自動車	1		1						
消防ポンプ自動車(小型ポンプ付)	7		2	1		1	1	1	1
高規格救急自動車	8		3	1		1	1	1	1
後方支援車	1	1							
防災活動車	1	1							
指揮車	1	1							
その他の車両	13	10	1		1			1	

2. 消防水利の現況

						•	12 1H / 1 1/3	
			浜田消防署	東部沿	肖防署	西部消	肖防署	≕
			浜田	金城	旭	三隅	弥栄	ĒΙ
	公	水利基準適合	586	94	21	99	0	800
	設	水利基準不適	279	57	135	145	73	689
消火栓	私	水利基準適合	15	0	3	0	0	18
	設	水利基準不適	19	0	1	0	12	32
		計	899	151	160	244	85	1, 539
	公	40m3以上	88	56	33	78	11	266
	設	20m3~40m3未満	5	1	1	5	0	12
貯水槽	私	40m3以上	15	0	0	1	0	16
	設	20m3~40m3未満	2	0	0	0	0	2
		計	110	57	34	84	11	296
	河川		66	0	0	0	0	66
	海		169	0	0	45	0	214
	プー	- ル	0		0	0	0	0
その他	濠 •	・池等	0	0	0	0	0	0
	井戸	i	0	0	0	0	0	0
	その)他	0	0	0	0	0	0
		計	235	0	0	45	0	280

3. 消防車両一覧表

		ı	Т	T	1	اللرا		(令和7年4)	<u> </u>
所属	1	名称	車種	種別	年式	定員	級別	装ポンプ 型式製作所	積載無線
		後方支援車	トヨタ ハイエースバン	後方支援車	2021	6			10Wl台 1Wl台
		防災活動車	三菱 デリカ	查察広報車	2015	8			10W1台
		指揮車	トヨタ レジアス	指揮車	2015	5			10W3台 1W3台
		連絡1	ダイハツ ブーン	事務連絡車	2019	5			10W1台
		連絡2	スズキ エブリイ	事務連絡車	2023	4			
		Q助号	日産 キャラバン	救急啓発広報車	2020	4			
消防本部		ライオンズ号	日産 バネットトラック	資器材搬送車	2009	3			10W1台
		軽トラック	三菱 ミニキャブ	事務連絡車	2006	2			10W1台
		本部1	ホンダ アクティトラック	軽積載車	2000	2			
		本部2	三菱 ミニキャブ	軽積載車	2000	2			
		本部3	三菱 ミニキャブ	資器材搬送車	1999	2			
		本部 原調車	イスズ エルフ	原因調査車	1999	6			10W1台
		キャラバン	日産 キャラバン	キャラバン	2013	6			
		梯子車	イベコ	はしご付き (30m級) 消防自動車	2003	6			10W1台 1W1台
		救助工作車	日野 レンジャー	救助工作車	2011	6			10W2台 1W2台
		化学車	日野 レンジャー	化学消防ポンプ自動車	2004	6	A2	2段バランス タービン 吉谷	10W1台 1W2台
		2号車	日野 レンジャー	水そう付き 消防ポンプ自動車 (1500L)	2009	6	A2	2段バランス タービン 吉谷	10W2台 1W2台
		7号車	日野 デュトロ	消防ポンプ自動車 (C-1ポンプ付)	2012	5	A2	2段バランス タービン 小川ポンプ	10W1台 1W1台
浜田消防署		8号車	日野 デュトロ	消防ポンプ自動車 (C-1ポンプ付)	2014	5	A2	1段ボリュート モリタ	10W1台 1W2台
		トレーラー	組立	ボートトレーラー	2017	0			
		高規格7号	トヨタ ハイメディック	高規格救急自動車 4WD	2011	7			10W1台 1W1台
		高規格1号	トヨタ ハイメディック	高規格救急自動車 4WD	2008	7			10Wl台 1Wl台
,		救急5号	トヨタ ハイメディック	高規格救急自動車 4WD	2022	7			10Wl台 1Wl台
	桜ヶ丘	6号車	日野 デュトロ	消防ポンプ自動車 (C-1ポンプ付)	2016	5	A2	2段バランス タービン 小川ポンプ	10W1台 1W2台
	出張所	救急4号	トヨタ ハイメディック	高規格救急自動車 4WD	2020	7			10Wl台 1Wl台
		積載1号	イスズ エルフ	積載車	1998	6			10W1台
	金城出	3号車	日野 デュトロ	消防ポンプ自動車 (B-3ポンプ付)	2018	5	A2	2段バランス タービン モリタ	10W1台 1W2台
東部消防署	張所	救急1号	トヨタ ハイメディック	高規格救急自動車 4WD	2015	7			10W1台 1W1台
	旭出張	1号車	日野 デュトロ	消防ポンプ自動車 (C-1ポンプ付)	2005	6	A2	2段バランス タービン 吉谷	10W1台 1W2台
	所	救急2号	トヨタ ハイメディック	高規格救急自動車 4WD	2015	7			10W1台 1W1台
		積載2号	イスズ エルフ	積載車	2010	6			
		5号車	日野 デュトロ	消防ポンプ自動車 (B-3ポンプ付)	2017	6	A2	2段バランス タービン モリタ	10W1台 1W2台
西部消防署		救急3号	トヨタ ハイメディック	高規格救急自動車 4WD	2017	7			10W1台 1W1台
	360 X4 111	4号車	日野 デュトロ	消防ポンプ自動車 (C-1ポンプ付)	2010	5	A2	2段バランス タービン 小川ポンプ	10W1台 1W2台
	弥栄出							· ·	

4. 火災予防条例に基づく届出受理状況

	米田沙吐男	東部消	肖防署	西部泊	肖防署	計
	浜田消防署	金城出張所	旭出張所		弥栄出張所	日
火災とまぎらわしい煙又は 火災を発するおそれのある 行為	89	7	6	29	3	134
煙火打上げ又は仕掛け	6	1	1	1	1	10
催物開催	2	0	4	0	0	6
水道断減水	21	0	2	2	0	25
道路工事	318	93	46	102	57	616
露店等の開設	83	24	9	43	7	166

5. **総 出 動 状 況** (令和6年中)

	月		1 日	οЯ	э П	4 日	- H	<i>с</i> П	7月	8月	οЯ	10 F	11 日	10 F	'l' ∌l'	署計	出動	
種別			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	0月	9月	10月	11月	12月	小計	者訂	合計	
	浜田消防署	消防署(本部含)	4	3	3	7	6	4	0	11	6	4	5	3	56	87		
		桜ヶ丘出張所	4	0	0	6	3	2	0	4	4	2	3	3	31			
火災出動	東部消防署	金城出張所	2	0	0	1	1	1	0	4	2	0	2	1	14	24	131	
усусщи	NCHAILINA H	旭出張所	1	0	0	1	1	2	0	4	1	0	0	0	10		101	
	西部消防署		0	3	1	1	1	0	0	3	1	1	1	1	13	20		
	다마하게	弥栄出張所	0	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	7	20		
	浜田消防署	消防署 (本部含)	136	109	107	98	110	115	119	139	119	107	100	127	1, 386	2, 230		
	供出伯例有	桜ヶ丘出張所	85	72	60	66	66	55	63	86	82	51	68	90	844	2, 230		
松色山動	古如沙吐罗	金城出張所	29	23	21	20	26	21	28	23	22	20	25	32	290	EE7	2 225	
救急出動	東部消防署	旭出張所	20	26	21	18	19	25	16	28	20	22	25	27	267	557	3, 335	
		•	34	28	40	35	31	37	34	37	42	33	31	41	423	5.40		
	西部消防署	弥栄出張所	9	10	7	7	12	10	15	16	17	7	5	10	125	548		
		消防署 (本部含)	6	5	1	2	2	5	5	1	2	3	3	0	35			
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35		
		金城出張所	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	- 3		
救助出動	東部消防署	旭出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		38	
		/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	西部消防署	弥栄出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	浜田消防署	消防署(本部含)	0	0	0	2	3	6	2	7	6	0	2	0	28	31		
		桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3			
その他の出動	東部消防署	金城出張所	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4	5	44	
		旭出張所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1			
	西部消防署		0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	4	. 8	8	
	- HI-11404 E	弥栄出張所	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4		Ь—	
	浜田消防署	消防署 (本部含)	9	8	6	5	6	5	4	12	6	5	8	8	82	87		
		桜ヶ丘出張所	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	٥.		
业 台士極山動	古如沙吐罗	金城出張所	1	3	0	0	2	0	0	1	0	1	1	2	11	15	110	
救急支援出動	東部消防署	旭出張所	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	4	15	110	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1			
	西部消防署	弥栄出張所	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	2	7	8		
	No the last of the	消防署 (本部含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
+ 45 // 11 - 51	and the Color Balla IIII	金城出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		_	
自然災害出動	東部消防署	旭出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		l	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	西部消防署	弥栄出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		消防署(本部含)	3	15	7	12	23	17	20	7	15	25	21	13	178			
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	5	183		
		金城出張所	1	4	3	0	1	1	1	0	0	4	0	2	17			
演習訓練	東部消防署	旭出張所	7	5	3	0	0	1	1	2	0	8	1	2	30	47	256	
		/6日派//	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	6			
	西部消防署	北州山東京														26		
		弥栄出張所	0	1.5	10	2	1.4	0	4	1.4	12	10	3	2	20		<u> </u>	
	浜田消防署	消防署(本部含)	3	15	10	9	14	32	38	14	13	18	18	10	194	194		
		桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34		
広報指導	東部消防署	金城出張所	1	0	3	1	1	3	3	2	1	2	4	2	23		280	
•		旭出張所	0	0	4	0	1	0	2	0	0	1	3	0	11			
	西部消防署		0	1	7	0	4	6	4	2	4	4	3	3	38			
		弥栄出張所	0	2	2	0	1	2	0	0	1	2	4	0	14	52		
	近田州陆盟	消防署 (本部含)	5	6	2	1	0	7	7	3	3	2	8	2	46	0.4		
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	5	2	0	2	3	8	2	1	6	4	0	5	38	84		
## 17-1-2121		金城出張所	1	0	0	10	4	7	1	0	4	0	2	3	32	50		
警防調査	東部消防署	旭出張所	1	0	0	10	9	6	3	1	6	0	3	2	41	73	221	
		1	4	1	4	6	6	3	5	1	5	2	4	0	41			
	西部消防署	弥栄出張所	-	0	0	2	6	5	0	1	3	2	3	1	23	64	1	

種別	月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	署計	出動 合計
	近田沙井里	消防署 (本部含)	3	2	3	1	1	1	2	5	1	2	6	5	32	20	
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	
西田細木	古 2013年12日	金城出張所	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	-	41
原因調査	東部消防署	旭出張所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	5	41
			0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	4	
	西部消防署	弥栄出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	ac manut m	消防署 (本部含)	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	17	17	
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	
A-L	古如沙叶里	金城出張所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	4	4	
特別警戒	東部消防署	旭出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	35
	西部消防署		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	14	
	四部相例者	弥栄出張所	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	2	2	9	14	
	近田沙井田	消防署 (本部含)	21	27	24	11	17	33	28	24	24	24	24	29	286	007	
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	287	
± 1 ₩ *	± ☆□ ン\/ □+ 四	金城出張所	1	2	4	0	3	1	3	2	5	0	2	5	28	45	077
立入検査	東部消防署 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地	旭出張所	1	1	3	1	3	0	2	4	2	0	0	2	19	47	377
		•	2	1	3	0	3	6	1	2	3	2	3	0	26	40	
		弥栄出張所	0	1	3	1	1	1	1	2	1	1	4	1	17	43	
	Z H WITH	消防署 (本部含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Salle Herr Laborates	La La Manda IIII	金城出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
遭難捜索	東部消防署	旭出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		l	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	西部消防署	弥栄出張所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	See Constitution of the Co	消防署 (本部含)	5	8	14	11	5	7	8	9	16	4	4	2	93		
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	0	1	2	1	1	0	2	0	1	1	1	5	15	108	
		金城出張所	0	0	3	1	0	1	0	0	3	0	2	2	12		
その他	東部消防署	旭出張所	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	4	16	140
		I	0	0	0	0	1	1	2	2	0	1	0	3	10		
	西部消防署	弥栄出張所	2	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	6	16	
		消防署 (本部含)	210	199	219	217	223	228	238	194	185	223	283	264	2, 683		
	浜田消防署	桜ヶ丘出張所	12	6	10	15	7	6	9	11	10	8	7	6	107	2, 790	
		金城出張所	34	35	32	24	29	20	33	34	26	29	27	24	347		3, 545
用務	東部消防署	旭出張所	4	9	6	7	6	3	6	6	1	4	4	2	58	58 405	
		1	30	17	23	25	23	19	25	19	14	20	18	23	256		1
	西部消防署	弥栄出張所	11	9	9	6	8	5	14	11	5	9	4	3	94	350	

6. 火災出動状況

		建物	林野	車両	船舶	その他	誤報	計
	火災件数	14	6	4	0	9		33
出動総数	出動件数	10	6	4	0	8	28	56
山野心教	出動台数	55	26	18	0	31	122	252
	出動人員	196	90	65	0	108	386	845
	件数	9	6	3	0	7	0	25
放水火災	出動台数	52	26	13	0	26	0	117
从小人火	放水台数	23	11	6	0	14	0	54
	出動人員	183	90	46	0	91	0	410
	件数	1	0	1	0	1	28	31
非放水火災	出動台数	3	0	5	0	5	122	135
	出動人員	13	0	19	0	17	386	435
事後聞知火災	件数	4	0	0	0	1	0	5
	浜田	7	3	4	0	6	15	35
	金城	2	0	0	0	1	5	8
各地域別出動 状況	旭	0	1	0	0	0	1	2
	三隅	1	1	0	0	1	5	8
	弥栄	0	1	0	0	0	2	3

7. 119番受信状況

(令和6年中)

災	害種別名称	件数	NTT 固定 119番	携帯 119	IP 119	携帯 転送	FAX 119	メール 119	緊急通報	加入電話	警察	サスケ	その他
	火災	38	9	19	1	0	0	0	0	0	3	0	6
	救急	3, 211	992	1, 436	619	8	0	0	0	104	17	17	18
災	救助	32	1	21	1	0	0	0	0	1	6	0	2
害出	支援	121	5	15	3	1	0	0	0	2	1	0	94
動	その他	26	14	9	0	0	0	0	0	2	0	0	1
	無指令	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3, 430	1,022	1,501	624	9	0	0	0	109	27	17	121

災	害種別名称	件数	NTT 固定 119番	携帯 119	IP 119	携帯転送	FAX 119	メール 119	緊急通報	加入電話	警察	サスケ	その他
	間違い	166	35	104	26	0	0	0	0	0	0	0	1
	誤報	71	42	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	いたずら	7	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1
١.	問合せ	175	55	100	19	0	0	0	0	0	0	0	1
キャ	病院照会	24	8	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0
シ	重複	160	37	106	17	0	0	0	0	0	0	0	0
セル	119試験	789	443	82	221	3	0	0	0	0	0	0	40
	通報訓練	514	248	95	169	2	0	0	0	0	0	0	0
	携帯転送	23	2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	992	104	141	363	19	0	0	0	1	0	0	364
	計	2, 921	975	695	818	25	0	0	0	1	0	0	407

覚知総合計 6,351 1,997 2,196 1,442 34 0 0 0 110 27 17 528

8. 各種ヘリ、ドクターカー要請状況

(1)ドクターヘリ

(令和6年中)

		収	容	未収容				
要請先	総要請回数	現場救急	転院搬送	天候不良	他事案 出動中	途中 キャンセル	その他	
広島県ドクターへリ	30	8	0	11	4	4	3	
島根県ドクターへリ	23	0	9	5	3	1	5	
計	53	8	9	16	7	5	8	

(2)防災ヘリ

(令和6年中)

要請先	件数			種別		
安丽兀	什奴	火災	救助	救急	災害対策	その他
島根防災ヘリ	4	1	1	1	0	1
鳥取防災ヘリ	0	0	0	0	0	0
計	4	1	1	1	0	1

(3)ドクターカー

(0/1 / / / / /		(Pige 11)					
		収	容		未収容		
要請先	総要請回数	現場救急	転院搬送	他事案 出動中	途中 キャンセル	その他	
島根大学医学部附属病院 高度外傷センター	12	6	2	1	2	1	

救急 - 救助

1. 救急状況総括表

			火	災	自然	災害	水	難	交	通	労働	災害	運動	競技	一般	負傷	力	1害	自損	行為	急	病	そ(の他		
	出動 件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	一日平均出動件数	一日平均 搬送人員
1月	313	286	2	0	0	0	0	0	14	14	1	1	1	1	66	59	1	1	2	1	205	188	21	21		
2月	268	246	0	0	0	0	0	0	7	6	0	0	2	2	55	53	1	1	0	0	185	167	18	17		
3月	256	241	0	0	0	0	1	0	6	6	3	3	0	0	53	48	0	0	1	0	172	164	20	20		
4月	244	228	2	0	0	0	0	0	6	5	2	2	2	2	33	33	1	1	0	0	173	162	25	23		
5月	264	253	2	0	0	0	0	0	13	12	5	5	0	0	51	51	0	0	2	1	167	160	24	24		
6月	263	251	1	0	0	0	0	0	10	10	1	1	1	1	58	55	1	0	2	2	166	161	23	21		
7月	275	255	0	0	0	0	1	0	4	3	4	4	2	2	40	37	1	1	3	2	205	192	15	14	9. 14	8. 49
8月	329	299	3	0	0	0	0	0	14	14	6	6	0	0	50	47	2	0	3	1	228	209	23	22		
9月	302	284	2	0	0	0	0	0	13	10	4	4	2	2	39	38	0	0	3	2	213	202	26	26		
10月	240	223	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	3	48	44	0	0	1	0	163	153	21	20		
11月	254	234	0	0	0	0	0	0	9	7	3	3	0	0	52	49	0	0	3	3	171	156	16	16		
12月	327	299	2	0	0	0	3	0	6	7	1	1	0	0	47	46 560	1	0	20	0	243	220	26	25 249		
令和5年	3, 335 3, 268	3, 099 2, 987	15 2	1	0	0	11	1	105	97	30 18	30 17	13	13	592 583	535	8	2	33	12	2, 291	2, 134 2, 031	258 272	254	8, 95	8. 18
令和4年	3, 054	2, 830	4	2	0	0	17	5	131	118	27	26	10	10	490	447	1	0	23	14	2, 130	2,005	219	203	8. 37	7, 75
令和3年	2,839	2,635	11	3	0	0	5	1	137	119	45	43	12	12	506	485	9	7	16	9	1, 863	1, 735	235	221	7, 78	7. 22
令和2年	2,754	2, 581	5	4	0	0	13	4	112	101	21	20	17	17	476	450	8	5	15	11	1,812	1,711	275	258	7, 55	7. 07
令和元年	2,913	2, 725	1	1	0	0	7	4	165	139	22	20	26	25	470	442	4	4	19	15	1, 935	1, 829	264	246	7. 96	7. 45
平成30年	3, 060	2, 881	5	2	0	0	17	11	162	156	26	25	18	18	535	505	5	5	23	16	1, 991	1, 883	278	260	8.38	7. 89

2. 時刻別・曜日別救急出動状況

											I HO	
	 	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
0~2	123	1		1	1	1		17		3	96	3
2~4	113	2			3	1		18	1	1	86	1
4~6	124	1			1			20			101	1
6~8	228	1			10	3		35		2	172	5
8~10	422	1			14	3	2	85		2	285	30
10~12	436	1			14	8	3	73	1	2	260	74
12~14	398	1		1	13	1	1	74		3	250	54
14~16	392	3			15	6	4	70	1	2	255	36
16~18	384			1	18	5	1	74		1	250	34
18~20	341	1			12	1	1	63	1	2	246	14
20~22	221	1			2	1	1	36	3	2	171	4
22~24	153	2			2			27	1		119	2
計	3, 335	15		3	105	30	13	592	8	20	2, 291	258
月曜日	502	4			18	5		66		4	364	41
火曜日	463	2			7	5		83		4	316	46
水曜日	456				14	5		87	3	1	303	43
木曜日	515	2			22	4	1	85		4	348	49
金曜日	495	1			14	5	2	98	2	3	325	45
土曜日	427	2			10	3	6	87	2	3	288	26
日曜日	477	4		3	20	3	4	86	1	1	347	8
計	3, 335	15		3	105	30	13	592	8	20	2, 291	258

3. 傷病程度別搬送状況

	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	61				1			4		3	52	1
重症	280				6	3		33			200	38
中等症	1, 443				29	11	5	236	2	8	994	158
軽症	1, 315				61	16	8	287	2	1	888	52
その他												
計	3, 099				97	30	13	560	4	12	2, 134	249

4. 署所別救急出動状況

	浜田	消防署	東部消	肖防署	西部洋	肖防署	計	
		桜ヶ丘出張所	金城出張所	旭出張所		弥栄出張所	ΠI	
1月	136	85	29	20	34	9	313	
2月	109	72	23	26	28	10	268	
3月	107	60	21	21	40	7	256	
4月	98	66	20	18	35	7	244	
5月	110	66	26	19	31	12	264	
6月	115	55	21	25	37	10	263	
7月	119	63	28	16	34	15	275	
8月	139	86	23	28	37	16	329	
9月	119	82	22	20	42	17	302	
10月	107	51	20	22	33	7	240	
11月	100	68	25	25	31	5	254	
12月	127	90	32	27	41	10	327	
計	1, 386	844	290	267	423	125	3, 335	

5. 救急法(応急手当)指導状況

(令和6年中)

	講習回数(延)	受講人員 (延)
上級救命講習	1	53
普通救命講習 I	45	815
普通救命講習Ⅱ	1	15
普通救命講習Ⅲ	9	74
その他の講習	122	5, 629
計	178	6, 586

6. まちかど救急ステーション認定状況

	認定事業所(団体)数	
令和6年認定数	1	19
認定総数	22	21

7. 救急救命士活動状況

(令和6年中)

気道	確保	除細動 (救急隊員	静脈路	各確保	アドレナ	/ John VIII of	ブドウ糖	-3.1
LM等	気管挿管	の実施含む)	CPA前	CPA後	リン投与	血糖測定	投与	計
26	9	6	6	33	31	92	2	205

8. 転院搬送状況

管内間	188
管内から県内	57
管内から県外	4
計	249

9. 救助活動状況

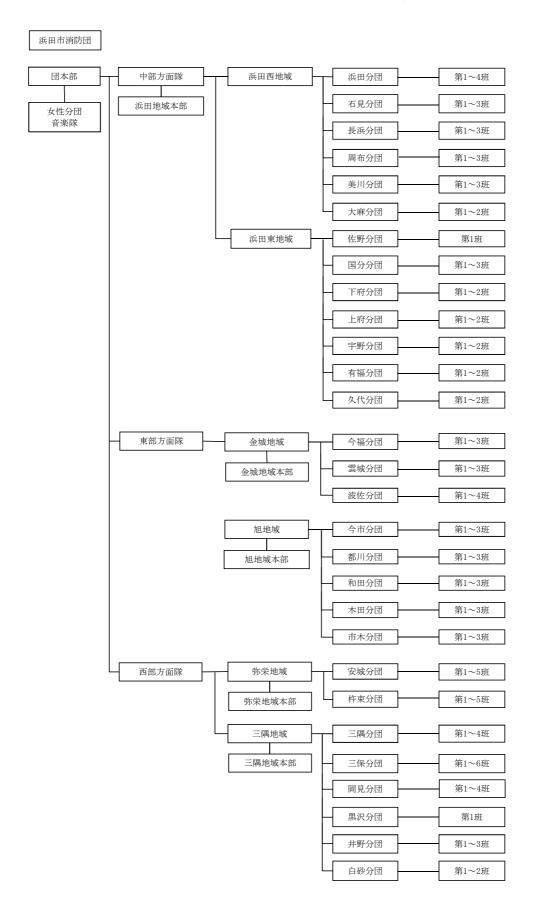
件	種	火災	交通	水難	風水害等自然災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発	その他の事故	計
救具	助出動件数		18	1						16	35
	管 内		18	1						16	35
	管 外										
救」	助活動件数		11	1						8	20
救具	助活動人員		60	11						53	124
救	助人員		12							8	20

消防団

1. 浜田市消防団の沿革

<u> 沃田川州</u>	
元和5年(1619年)	2代将軍徳川秀忠のとき、伊勢松阪から古田大善太夫重治が石見の国那賀、邑智、美濃 三郡のうち5万石に封ぜられ亀山に城を築き、連担地区8町をもって城下町とし、その後 元和9年6月町奉行配下のもとに町火消しを設置したと伝えられている。
明治2年	廃藩置県により浜田県となり、明治9年島根県に合併した。
明治26年5月15日	町長俵平吉自ら頭取となり、消防夫50名をもって公設消防組を組織した。
明治27年10月4日	島根県令第40号により従来の町設消防組を解散し、改めて消防夫62名で消防組を組織した。
明治27年11月8日	第1回消防演習を行った。
昭和6年8月30日	消防ポンプ自動車を購入し消防組に配置した。
昭和9年2月16日	周布村消防組が金馬簾1条の使用を許可された。
昭和14年4月1日	勅令20号により浜田町消防組を浜田町警防団に改組した。
昭和15年11月3日	1町4村の合併により市制が施行され、各町村の警防団に併せて浜田市警防団を組織し1 団本部5分団とした。
昭和16年6月10日	市内在住の高山氏から消防ポンプ自動車(高山号と命名)1台の寄贈を受け周布分団に配置した。
昭和18年9月10日	浜田市浅井町に警防会館(木造2階建73坪15,995円)を新築した。
昭和22年8月30日	勅令185号により、浜田市警防団を浜田市消防団と改称し、405名で組織した。
昭和22年9月1日	浜田市消防団設置条例及び浜田市消防団給与条例を制定した。
昭和23年6月1日	浜田市消防団設置条例の改正により定員271名とした。
昭和23年7月1日	浜田市消防団設置条例を廃止し、浜田市消防団条例を制定した。
昭和30年4月1日	那賀郡大麻村及び井野村の一部と合併し、新たに22名の団員で大麻分団を編成し、1団本部6分団293名となる。
昭和33年11月1日	合併した佐野町・宇津井町地区に新たに20名の団員で佐野分団を編成し、1団本部7分団 313名となる。
昭和44年2月28日	浜田市消防団条例を廃止し、浜田市消防団の設置に関する条例を制定した。
昭和44年3月1日	那賀郡国府町と合併し新たに6分団を加え1団本部13分団、定数500名となる。
昭和58年10月1日	浜田市消防団に隊員30名、内女性1名をもって音楽隊を発足する。
昭和59年3月25日	昭和58年7月豪雨災害における甚大な被害と犠牲を追想し、安全で明るいまちづくりを 推進するため毎年7月23日を「市民防災の日」とすることに決定した。
平成6年4月1日	浜田市消防団に定員30名をもって、女性分団を発足し、1団本部14分団となる。
平成9年2月14日	日本消防協会長から特別表彰「まとい」を授与される。
平成17年10月1日	那賀郡金城町、旭町、弥栄村及び三隅町と合併し、方面隊方式により新たに1団本部、 5隊本部、30分団、定数1,165名となる。
平成20年8月2日	島根県知事から表彰旗を授与される。
平成22年6月25日	浜田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を改正し定数1,065名となる。
平成26年2月28日	日本消防協会長から竿頭綬を授与される。
平成30年3月6日	日本消防協会長から優良消防団(表彰旗)を授与される。
令和4年4月1日	浜田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を改正し定数850名となる。 浜田市消防団組織を新たに1団本部3方面隊30分団とし、各地域に地域本部を置く。

2. 浜田市消防団組織図



3. 消防隊別団員数と現有消防力

(令和7年4月1日現在)

\setminus			階級別消防団員数								現有消防力				
		定員	数 実 員	沖	河 田 画	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部	班長	河 母	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	・ 積載車 ・ ・ ・ ・ で が で が が が が が が が が が が が が が
	団 本 部	53	50	1	2			1	1	4	4	37			2
	中部方面隊(浜田西地域)	203	184			1	1	7	12	18	32	113			14
	中部方面隊(浜田東地域)	141	111			1	1	7	7	13	15	68		6	8
浜田	東部方面隊(金城地域)	122	109			1	1	3	3	7	11	83		2	10
田市	東部方面隊(旭地域)	87	71			1	1	5	5	8	19	33			13
	西部方面隊(弥栄地域)	67	55			1	1	2	2	4	10	35			7
	西部方面隊(三隅地域)	177	149			1	1	6	8	8	22	104		2	18
	計	850	729	1	2	3	6	31	38	62	113	473	0	10	72

4. 消防団出動状況

	抽	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	広報・指導	警防調査	特別警戒	捜索	予防査察	その他
出動回数	166	27	1	62	50	0	3	0	0	23
出動延人数	3, 680	274	2	1, 797	912	0	45	0	0	650

5. 勤続年数別消防団員数

		5年未満	5~9年	10~14年	15~19年	20~24年	25~29年	30年以上	計
	団 本 部	8	9	12	4	4	7	6	50
	中部方面隊(浜田西地域)	23	25	34	31	14	15	42	184
浜	中部方面隊(浜田東地域)	11	14	24	18	13	4	27	111
田	東部方面隊(金城地域)	4	8	20	15	32	12	18	109
市	東部方面隊(旭地域)	2	12	12	8	16	10	11	71
	西部方面隊(弥栄地域)	4	2	7	11	10	7	14	55
	西部方面隊(三隅地域)	9	26	22	20	18	23	31	149
	計	61	96	131	107	107	78	149	729

6. 年齡別消防団員数

		18~ 19歳	20~ 24歳	25~ 29歳	30~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60歳 以上	計
	団 本 部	0	2	1	3	6	3	3	6	4	22	50
	中部方面隊(浜田西地域)	0	4	8	7	14	21	28	33	19	50	184
	中部方面隊(浜田東地域)	0	1	2	8	5	16	15	16	14	34	111
浜田市	東部方面隊(金城地域)	0	2	0	3	12	21	24	22	11	14	109
	東部方面隊(旭地域)	0	1	2	3	5	10	16	21	5	8	71
	西部方面隊(弥栄地域)	0	0	1	1	3	8	8	7	8	19	55
	西部方面隊(三隅地域)	0	0	0	7	8	17	26	24	20	47	149
	計	0	10	14	32	53	96	120	129	81	194	729

7. 団員報酬及び費用弁償

【年報酬】 (単位:円)

階級別	金額
団長	82, 500
副団長	69, 000
方面隊長	65, 000
方面副隊長	60, 000
分団長	50, 500
副分団長	45, 500
部長	40, 000
班長	38, 500
団員	36, 500

【出動報酬】 (単位:円)

種別	金額
災害出動	1回につき4時間までごとに4,000円 (上限12,000円)
訓練等その他の出動	1回につき3,000円

【費用弁償】 (単位・円)

【复用并俱】	<u> </u>
種別	金額
機械器具点検実施者	1月につき500円
機関員	1月につき500円
音楽隊員	1月につき500円
ラッパ隊員	3月につき500円

浜 田 市 少 年 女 性 防 火 委 員 会

1. 事業報告

(令和6年度)

- (1) 女性防火クラブ
 - ア 弥栄中学校ワークショップに女性防火クラブ員を講師派遣
 - イ 島根県女性防火・防災クラブ連絡協議会委員会(松江市)
 - ウ 島根県女性防火・防災クラブ連絡協議会研修会(大田市)
 - エ 杵束まちづくりセンターの地域活性化イベントで火災予防啓発活動を実施
 - オ 女性防火クラブ員研修会(広島平和記念資料館、広島市豪雨災害伝承館)
- (2) 幼年消防クラブ
 - ア 花火教室を開催(10クラブ)
 - イ ふれあい防火教室を開催

2. 結成状況

- (1) 女性防火クラブ 3団体
- (2) 幼年消防クラブ 27団体